

『福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会』を設置

～ 青少年の安全・安心なスマートフォン利用の環境整備に向けて活発に意見交換 ～



連絡会で挨拶する伊丹局長

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成26年2月13日（木）、福井県庁において「福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会」を開催し、行政、PTA、学校関係者、電気通信事業者など構成員23機関から42名が出席しました。

冒頭、伊丹局長が「青少年において中高校生の約8割から9割がSNSなどのコミュニケーションアプリをほぼ毎日利用しているという調査結果が出ている。総務省では「スマートフォン安心安全強化戦略」を公表し、青少年におけるソーシャルメディアの適正な利用のためのガイドラインの自主的な作成を促す取組を進めている。青少年が安心して安全にネットを利用できる環境を実現していくためには、行政だけでなく、PTA、学校関係者、電気通信事業者等が緊密に連携していくことが重要。北陸総合通信局としても、本連絡会と連携を密にして、地域レベルのセミナーや講演会、e-ネットキャラバンの出前講座を充実するなど、青少年のリテラシー向上に努めていきたい。」と挨拶しました。

連絡会では、座長に福井県立大学学術教養センターの山川 修教授を選出し、設置要綱の確認、本年6月にセミナーを開催する等の活動計画が承認されたほか、北陸総合通信局からは「ソーシャルメディアガイドラインの普及促進」について説明を行いました。また、構成員の取組として、福井県教育委員会、福井県警察本部、日本司法支援センター福井地方事務所から普及啓発活動等に関する説明がありました。

研修会では、明神 浩 氏（電気通信サービス向上推進協議会 事務局長、（一社）テレコムサービス協会 企画部長）が、「ネクスト・ソサエティ ネットにのみ込まれる社会 ～若者をネット依存へと導く Endlessサービス～」と題して、青少年のスマートフォン利用に関する現状と課題、コミュニティサービス等のトラブルやネット依存とその対策について講演しました。

その後の意見交換では、山川座長の司会により、福井県内での青少年のスマートフォン利用の実態等について参加者から報告があり、また、深刻化するネット依存の課題等について、保護者、教職員が継続して勉強していかなければならないなどの多くの意見が出され、活発な意見交換が行われました。



連絡会の初会合



講演する講師の明神 浩 氏



研修会の模様



座長の司会による意見交換

お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4422